

伝心伝承

当コーナーは「中央海」という大海原での羅針盤たる
助言・苦言をいただくものです。2回目は第20期県会長
角田茂樹OBです。



—私は今月入会したばかりなのですが、中央会を10倍楽しくする方法を教えてください。
いかに積極的に会の活動に取り組んで、いかに交流を図るかで変わってくるだろうね。あと、不謹慎
だけど「今日の会議の後どこに飲みに行こうか？」などと仲間内で相談するのも楽しいし、飲み会の場
で仕事を離れて異業種交流を図ることも楽しいことだとおもうよ。そのことを通じて、仕事の利害関係
だけではない気の合う人が増えてくれば、それは何倍にも楽しい会になるんじゃないかな。

—定例の質問になります月の飲食費はどれくらい使われましたか？

僕の場合は12時すぎると眠くなってほしい1時間くらい寝てまた起きてから飲むというような感じだったし、基本的にはワリカンだったから月
に何十万も使うことはなかったよ。ただし、交流を早く深めるためには必要なことだとおもうよ。飲み会に参加するということは、いろいろなシ
チュエーションを共有し、お互いの弱みを握り合うことだし(笑)。社会人の付き合いは利害関係もあるから、昔からの親友のように「腹をわって
話す」ということは難しいかもしれない。しかし、中央会というものは共通の目的意識を持った集団なのだから、たまたま知り合った人と交流を
深めるよりは容易に交流を深めることができるんじゃないかな。

—15年度のスローガンは「伝心伝承」ですが、先輩よりなにか受け継がれたものがあれば教えてください。

僕が入会した頃は周囲の人が「おせ」にみえて緊張した(笑)。接点もないから何を話していいかわからず、幽霊会員になった時期もあった。でも、
そんな時ある先輩が声をかけてくれた。それから会にも出席するようになり現在の僕がいる。この「お互いに声をかけ合うこと」を受け継い
でいって欲しい。

—最後に現役会員へメッセージをお願いします。

今の会の人たちは大変だとおもうよ。個人経営者の人たちも会社経営が大変な時代だし、自由な時間がなかなか取れない。サラリーマン会員に
しても、一応会社から派遣してやるということに参加しているが、「この景気の悪い時代に中央会どころじゃないだろう！」という他の社員の目も
あるから活動しづらいところがあるんじゃないかな。それに、中央会も「どこそこは何人いるからうちも何人にしなければいけない！」というよ
うな数の競争をやってはダメだね。確かに数は力にはなるとおもうが、会費を集めるだけの人を増やしてもダメだろう。人数が多少減っても会
の活動を理解して、会の活動に積極的に参加してくれるような人材を増やしていかなければいけない。

(広報：岡本重雄)

言わしてごしない 其の式

NHK「プロジェクトX」の製作プロデューサー今井彰さんが
講演の中で、「この番組を始めるようになりまして、よりその気
持ちは強くなってまいりましたが、日本という国は中央に現れた
政治的なスーパースターがぐいぐい引っ張って来たのではなく、
中小企業と地域とそこに働くサラリーマンたちが懸命に立ち上
ってきた国なのです。(中略)日本人の戦い方というのは、世界の
どこの国も、あるいは他の会社が考えつかないものをおもいつ
てその開発に果敢に取り組んで市場を切り開いていき、さらに世
界の誰もが追いつかないうちにまた一歩先に進んでいくという姿
勢で戦ってきたのではないかとおもいます。ところが、この10年
で日本の社会、日本の企業に蔓延した悪しきものというのは「成
果主義」だったとおもっています。「成果主義」の中では短期間
で何でも良いから利益を生まなければというふうな企業も社会全
体も焦り始めたのだとおもうのです。テーマというものが見えな
くなってきた時にプロジェクトや組織がどうなっていくかと言
いますと、そこに働く人達にとって、「自分は一体何のために働
き自分の日々を誰が見つけているのか」という非常に大きな疑問
を抱き始めます。」とおっしゃっていました。この話を聞いて、
改めて今こそ「志」というものが大切になってきているのだとお
もいました。

(広報：木下立己)

吾輩はサウスポーである。

私は、昔でいうところの青年団(名は「吉長208会」)で年間を
通じて活動している。

去る8月13日、恒例の納涼盆踊り大会を開催したところ大盛況の
うちに終了することができた。会場では、おじいちゃんやおばあ
ちゃんのありがたうという顔、照れくさそうにはにかんだ同僚の
顔、各種バザーやビンゴではしゃぎ廻る子供達の笑顔があふれた。
2時間少々あいた、空間を同じくする老若男女はお互いの顔を見
ながら会話の花を咲かせている。1年に1回の盆踊り。一見何処に
でもある風景ではあるが、今の殺伐とした現代に麻痺しているせい
か、「ホッ」とした感覚を覚えたのは私だけだったろうか?ちな
みに、私は3年前からかき氷担当で、今年は300杯超を作った。後日、
少々バテ気味だったのは言うまでもない。(指)

9月例会案内

とき 平成15年9月17日(水) 18:30~
ところ 米子コンベンションセンター2F 国際会議室
内容: 来年開催される30周年記念事業への理解と参画を促す
テーマ: 「周年事業の伝心伝承」

※この紙は再生紙を使用しています。 ※環境に配慮した「大豆インキ」を使用しています。

コピーをして名簿にお貼り下さい

木下 勝 B型 営業
堀田石油株式会社
石油製品販売業
〒684-0032 境港市相生町33
TEL 42-2155 FAX 42-3645

〈自宅〉米子市彦町28-11
〒683-0854 S37.11.28 TEL24-4771

(コメント)
このたび8月より入会させていただくことになりました堀田石油株式会社の木下勝
です。本会を通じて数多くの方々とお会いし、ノウハウを吸収していきたいとお
もいます。若輩者ですが、先輩の皆様方にはご指導・ご鞭撻をよろしくお願
いいたします。

岡本 重雄 A型 営業
エイアイジー・スター生命保険株式会社
生命保険業
〒683-0812 米子市角盤町250 米子中央ビル3F
TEL 33-3161 FAX 23-1551

〈自宅〉米子市義方町6-9
〒683-0844 S46.3.17 TEL22-7397

(コメント)
今月よりお世話になりますAIGスター生命株式会社の岡本重雄と申します。恐
らく私の人生の中でちょうど折り返し地点の頃になるとおもいますが、その時期に
中央会に入会させていただき、フンドシを閉めなおす気持ちで頑張っていこうとお
もっております。私は頭で覚えるタイプではなく体で覚えるタイプなので、何に
でも積極的に取り組んでいこうとおもっております。皆さん、ご指導の程よろしくお
願いいたします。

訂正とお詫び

細心の注意を払って作成しました平成15年度会員名簿ですが、電
話番号に間違いがありました。以下訂正をしていただきますようお
願いたしますとともに、ご迷惑をお掛けしました関係者各位に紙面か
らではありますがお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

42ページ
事務局 斉藤史哲さんの電話番号 誤: 34-2104→正: 34-2105
事務局 織原理津子さんの電話番号 誤: 34-2104→正: 34-2105

9月役員会報告

9月定例役員会が平成15年9月1日(月)、米子食品会館に於て
開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 9、10月例会開催の件
- (2) 青経連親睦会の件
- (3) その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

Handsome

発行人: 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 浜田一哉 編集責任者 野嶋 功 印刷所 東京印刷社



納涼例会 大いに盛り上がる!!



8月18日(月)、米子食品会館において18時30分より納涼例会が行われた。
第一部は、新館2階にて多賀地域ビジョン委員長の司会により開会された。冒頭、浜田会長より、「アメリカのショービジネスの世界では、5分遅刻をすると契約を破棄されても仕方がないそうです。私たちは自分を磨くために中央会に入会しています。信用・信頼関係を築くことが中央会の中でも一番大切なこと、それがひいては今年度テーマにしている「自立」につながるのではないかとおもいます。」との挨拶があった。

新入会員の村中・木下・岡本3氏のバッチ授与式の後、岩崎情報メディア委員長の委員長タイムに移り、「情報メディア委員会では、メンバーの個性を活かした運営をしていきたいとおもっています。自分が何をしたいのか、何が出来るのか、逆に何が出来ないかを知っていき、メンバーひとりひとりが知識と行動を積み上げていく1年にしたいとおもっています。」との話があった。その後、キリンビール山陰支社長の長野良昭様より、「山陰産の大麦はキリンビールが契約栽培しており、今年のキャッチフレーズを「ビールのおいしさ山陰産」としている。」とのお話があった。続いて、「ビールの学校」と題し、同営業部長北村公重様より①ビールが何から出来ているか?、②仕込み工程について、③ビールを美味しく飲むために、の3項目について講演をいただいた。実際に芽芽乾燥大麦を試食、ホップの実を潰して香りを確認し、ビールのおいしい注ぎ方を会場全員が体験した。



第二部は、席を1階に移し、市位県会長の「健康でおいしいお酒が飲めますように。」との挨拶で始まった。キリンビールさんのご協力のもと「ラガー・一番搾り・淡麗」のブランド当てクイズがあり、自慢の舌を競いあった。続いて、先のトライアスロンで活躍された中央会トライアングルの各部長より総括の話があった。普段からよく飲む中央会会員諸氏ではあるが、ただ酔っ払うのではなく、熱い気持ちを交し合った例会となった。ちなみに、ブランド当てクイズの結果は1位広報委員会、2位政治行政委員会、3位地域ビジョン委員会であった。

最後になりましたが、今回お世話になりましたキリンビール山陰支社長野支社長をはじめスタッフの方々には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。(広報:木下立己)



広報紙編集方針について

今年度広報委員会の広報紙編集方針として、文中にはできるだけ「But I think」を盛り込むようにしています。というのも、文章というものは「いつ、どこで、誰が…」といういわゆる「5W1H」で構成されている限り充分成り立つのですが、報告色の強いものなどはどうしても紋切型になりがちです。公器としての新聞等マスコミならいざしらず、ミニコミ紙である「ハンサム」には「〇〇の内容に対して私はこうおもいました。皆さんはどうおもいますか?」というような自己主張する独創的な文章のほうが合っているとおもいます。

そういう観点に立ち、新規コーナーとして「未来ハンサム」を作り、掲載することになりました。この「未来ハンサム」は、近未来(10年後)の米子周辺の政治・行政・教育・環境・産業・観光・文化等々に関して主観に基づく大胆な予想記事を書いていただくものです。ただし、構成は一切問いません。現在に身を置き未来に警鐘を鳴らしてもらっても構いませんし、タイムトリップしてバーチャル体験してもらっても構いません。イラストと文章を組み合わせるなんいうのもありでしょう。

未来は必ずしも輝かしいものではありませんが、絶望の果てでもないはずですよ。あなたのペンにはどんな未来が投影されることでしょうか? 「未来ハンサム」をはじめ、各コーナーに多数の執筆申し込みがあることを期待すると同時に、心待ちにもらえる広報紙になれるよう努力していきます。

広報委員長 後藤公平

未来

Humane Do everything that is humanly possible

2013.9 No.298

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 一休謙太郎 編集責任者 平成15年度広報委員会 印刷所 東京印刷社

「2013年、緑肥の旅」

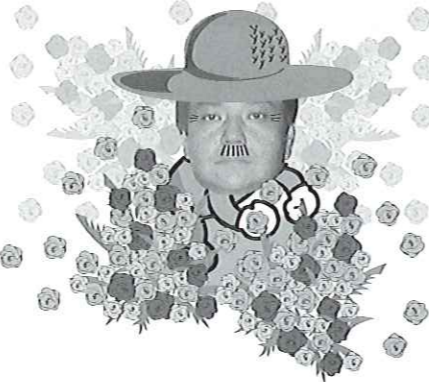
2013年9月15日の朝。「おはよう！今日も暑いね。地球温暖化で気候も変わってしまい梅雨も旧盆の前まで明けなくなったね。9月になってようやく夏本番か。今日の紫外線警報指数はいくらだ？坊主にサングラスと紫外線カットのクリームをぬってやれよ。」と嫁さんに言いつつ、ネット配信の朝刊を読む。

政治欄には、先日閉会した国会で民主党政権が誕生し、境港ゆかりの前原総理や枝野官房長官に野田財務大臣、そして片山総務大臣の記事が載っているなあ。経済欄には、北朝鮮のあの体制も5年前に崩壊し、いよいよ中国大陸からの荷が清津から元山経由で境港に入り、貿易港としての役割を果たす特集記事があるねえ。国際欄には、初代E U大統領と初代中国大統領、それにヒラリークリントンを破ったケビンコスナー合衆国大統領との鼎談記事か…。なにに、スポーツ欄には「阪神、10年ぶりにマジック点灯！」、ハハハ。地方欄には、国の財政破綻から再度の市町村合併が促され、県西部がひとつの市になり、初議会を終えた市長の談話も載っているねえ。

そう言えば、嫁さんが道州制の枠組みをどうしようかと意見を聞いていたな。「島根県と鳥取県の山陰道にするか？それとも5県で中国道をつくるか？」を問う住民投票もいよいよ来週かあ。俺も若い頃は選挙に出ていたけれど、敗れてからは弓浜半島の耕作放棄地を開墾して今じゃバラ生産農家だから分からないあ。でも、住民がまちづくりに参画することが一番だし…。今はそれよりも10歳になるうちの坊主のことだよ。中学校は統廃合、高校も米子地区で普通課高校1校と実業高校1校に統廃合だもんなあ、まったく。消費税も食料品に10%課税、一般の商品には15%課税になるし…。まちづくりだけでなく税金の使い道も真剣に考えないとなあ。

おっと、今夜は西部青年中央会のOB交流会か。3年前、初の女性会長誕生の時にOB会事務局の下にOB会総務委員会ができたおかげで卒会して5年経つけど未だに駐車場の番だものなあ。でも、今年の会長は俺が若い時から世話になったあいつだから、恩返しの意味で駐車場の番をやらなきゃなあ。あっ、そうだ忘れてた。出かける前にネットバンキングでJリーグに昇格したSC鳥取にカンパしとかなきゃ！！

(総務：湯原俊二)



8月度委員会報告

情報メディア委員会

平成15年8月4日(月) 於：日本海情報ビジネス専門学校 出席者/11名
内容/内部講師講演および実習

- 講師：島山広幸会員 演題「Eメールの必要性について」
1. メールは、仕事を便利にし、気持ちを伝え、生活を豊かにする道具である。
 2. メールは現在の生活にとって必携で、毎朝の新聞のように毎日メールチェックの習慣をつける。
 3. メールの実習。フリーメールアドレスの取得とメールの送受信方法の実践。

今回のパソコン教室は、初歩からの説明で初めての人はもちろん、すでに利用されている方にもわかりやすいもので、メールの利用法・マナーなどを改めて認識できた。メールは確かに現代社会には欠かせない道具であり、忙しい人のコミュニケーションに最適なメディアである。メールはもとより、ネットでのやりとりは仕事上欠かせないものとなっているので、もっともっと勉強をしなければならない分野であると感じた。

政治行政委員会

平成15年8月4日(月) 於：ホールサムインかいけ 出席者/12名
内容/「環境」問題についての討議

委員会では、「環境」「教育」「観光」の3つの課題についてグループ編成をして、各課題についてある程度まとめた上で講師を招き、政治との関連についてレポートする。

今月のテーマ「環境」については「ゴミ収集と分別について」「下水道問題」「リサイクル」「中海問題」「電力事業について」等々が挙がった。この中からもう一度煮詰め、その事柄について11月に講師を招くこととなった。

国際交流委員会

平成15年8月7日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名
内容/①前年度継続事業報告

- 松浦、野口、釜田の3氏が竹床板工場を視察訪問した時に撮影したビデオと写真を鑑賞した。
- ②今後の活動予定調整
本年度の委員会活動を大まかに二分した。
 - ③その他
タイへの社会貢献として、中古メガネの寄付を行う活動に力を入れている日本海新聞社から取材が来る。

経営委員会

平成15年8月6日(水) 於：米子食品会館 出席者/11名
内容/年間の委員会運営について

「精神修養する委員会(例：お寺で座禅会など)」「講師の話しを聴くだけでなく向いて視察、見学」「金融機関から見た好きな/嫌な決算書」「経営者の失敗談」等々。

地域ビジョン委員会

平成15年8月6日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名
内容/年間の委員会運営について

「食品団地は空き地が多く、クレーンヤードなどの利用も考えたらどうか?」「境港市と合併しない方向で決定したが委員会として方向性を提言するのはどうか?」「米子市の観光は物まねが多い。皆生に遊技場を作るのは良いとおもう。」「市町村によって行政サービスに格差がありすぎる。」等々。

広報委員会

平成15年8月5日(火) 於：大連 出席者/11名
内容/①ハンサム9月号編集

②文章校正講座

今年度広報委員会は新入会員と未経験者が多いため、広報紙のスムーズな編集作業のためには各委員の文章・校正知識レベルの標準化が必要と「文章校正講座」がおこなわれ、各委員から多くの質問が飛び交った。今回も気が付けば22時という、委員全員が集中して取り組んだたいへん内容の濃い委員会となった。

総務委員会

平成15年8月5日(火) 於：いろは精肉本店 出席者/11名
内容/総会・懇親会の反省会ならびに新規加入者用パンフレットについて

パンフレットについては、委員長よりサンプルが紹介され、さらに内容を詰めていくよう提案がされた。反省会では、「前日の細かなリハーサルがあったから当日あわてることがなかった。」「みんなが協力してカバーした。」「時間の余裕がなかった。」等々が挙がった。

30周年記念事業委員会

平成15年8月7日(木) 於：米子食品会館 出席者/6名
内容/9月担当例会打ち合わせ。

30周年記念事業にむけての例会とすべく、企画案が熱くかわされた。「周年事業の啓蒙と参画意識の高揚を図る」という目的のもと、例会についての細かい打ち合わせが行われ、時間があつという間に過ぎた当月委員会であった。

第9回オールジャパンジュニアトライアスロンin岸本

去る8月24日(日)、岸本スポーツセンターにて「第9回オールジャパンジュニアトライアスロンin岸本」が開催され、我が中央会からも現役・OB会員がボランティアとして多数参加した。

さて、私こと小川、先般行なわれた「全日本トライアスロン皆生大会」でのボランティア参加は前年に引き続き2回目であるが、ジュニアトライアスロンについては今回初めてのボランティア参加。そればかりでなく、なんと！この大会の存在自体よくわかっていなかった。恥ずかしながら…。

大会参加者は、地元鳥取を中心に四国や近畿、遠くは東京都からも出場し、総勢200名以上が4クラスに分かれて競い合った。競技開始前の彼らは父兄につき添われ、やはりあどけなさが残るのは否定できなかったが、いざ競技がはじまると一転立派なひとりのアスリートの顔と変わっていた。レースにおいても大人顔負けの迫力が感じられ、ジュニアだからといって決してあなどることはできなかった。

観戦においても皆生トライアスロンとはまた違った感動にもめぐり逢えた。言葉で表すと、皆生トライアスロンが「汗と涙と感動の物語」とすれば、ジュニアトライアスロンには「将来の夢と希望」も加わるといったところか…。かくして、大会は無事終了し、彼らは自らには良き思い出と我々には感動を与えて去っていった。また、来年も元気な姿を見せてくれることだろう。

(広報：小川昌史)



イベント情報

とっとり産業技術フェア2003

目的：県内企業・研究機関が持っている優れた技術・製品・成果等を一堂に展示するとともに全国へ発信し、販路開拓を図る。

会期：平成15年10月3日(金)～5日(日)の3日間

会場：鳥取県立鳥取産業体育館(鳥取市天神町50-2)

アクセス：JR鳥取駅南口を南下し、産業道路を西進。53号線を越えて左手。

※参照…(http://www.toriton.or.jp)

環境フェスタ・リサイクルフェア2003

目的：廃棄物の発生抑制・減量化・リサイクルを推進し、県民の意識の高揚を図るとともに、日常生活での実践の契機とする。

会期：平成15年11月2日(日)～3日(祝)の2日間

会場：米子コンベンションセンター(米子市末広町74)

アクセス：米子駅前サティ東隣り。